

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	医療システムマネジメント論 (Introduction to Health Care System Management)		
ナンバリングコード	S30435	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 応用レベル / 臨床医工学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 臨床医工学コース 選択: 診療放射線学コース、臨床検査学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S013751	クラス名	-
担当教員名	伊藤 英史、宮崎 仁、小野寺 博和		
履修上の注意、 履修条件	臨床医工学コースの学生は必ず履修すること。事前・事後学習に加えて、常日頃から新聞やインターネットなどの情報から病院の安全管理や経営システムに関する情報などの医療に関する記事に関心を高めておくこと。		
教科書	医用機器安全管理学 第2版、医療安全管理テキスト 第5版		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	病院全体の医療安全対策管理方法について、法律、チーム医療、システム工学の観点から考察する。その結果、将来、医療機関で医療安全管理責任者となり得るための素養を身に付けることを目的とする。	
授業の概要	本科目では、質の高い医療を提供するためのシステムを構築するために必要となる、医療法、チーム医療、病院全体の医療安全対策管理方法について、実例を中心として学び、医療機関で医療安全管理責任者としての責務を果たすための医療システムマネジメントに関する基本的知識を身に付ける。具体的な教科内容には、システム安全(信頼性工学の基礎、システム安全の手法、ヒューマンファクター科学概要、医療事故分析手法)、感染対策(感染管理、感染制御、洗浄・消毒・滅菌)、医療電磁環境と電波管理、災害対策と事業継続、医療安全に関する関係法規の内容を含む。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	伊藤英史(臨床医工学): 救急医学・心臓血管外科学・医工学治療 循環器外科・内科領域の臨床応用ができる基本的な能力を身に付けてもらうために、理論と実践を踏まえた内容を理解できるような講義展開を実施する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	1.医療安全管理の概要について説明できる。 2.医療安全管理上のシステム安全工学に関する概要について説明できる。	70点		
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】	3.災害や新興感染症、医療事故等に対応する手段について説明できる。	10点	10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
レポート提出や講義中のプレゼンテーションが必要な場合については、適宜、講義の中でそれぞれの課題について説明する。成績は試験成績に加えて、レポート提出、および講義の中で実施されるプレゼンテーションの採点を総合して評価する。

○その他
臨床医工学コースの学生は必ず履修すること。 講義はオムニバス形式で複数の教員で展開する。(担当教員; 伊藤英教授、宮崎准教授、小野寺准教授) * 尚、本講義科目の実時間は1コマ120分とする。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	医療システムマネジメント論(Introduction to Health Care Syst	授業コード	S013751
	担当教員	伊藤 英史、宮崎 仁、小野寺 博和		
学修内容				
1. 【病院管理及び地域医療】医療機器安全管理責任者 オリエンテーション・医療機器安全管理責任者の役割について学修する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	教科書①(第1章:臨床工学技士と安全管理)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	医療機器安全管理責任者の役割についてまとめること。		2時間	
2. 【医用工学と安全】信頼性工学の基礎 システム安全(信頼性工学の基礎)について学修する。(担当教員:宮崎准教授)				
予習	教科書①(第7章:システム安全)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	教科書・参考書・講義内容を踏まえて信頼性工学の基礎に関する演習問題を解いておくこと。		2時間	
3. 【医用工学と安全】システム安全の手法 システム安全(システム安全の手法)について学修する。(担当教員:宮崎准教授)				
予習	教科書①(第7章:システム安全)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	病院内のシステム安全の手法についてまとめること		2時間	
4. 【医用工学と安全】ヒューマンファクター科学 ヒューマンファクター科学概要について学修する。(担当教員:宮崎准教授)				
予習	教科書②(第4編:ヒューマンファクターの観点から)	を読んでおくこと。	2時間	
復習	医療安全管理とヒューマンファクターの関連性についてまとめること。		2時間	
5. 【医用工学と安全】医療情報システムセキュリティ 医療機器・医療情報システムとセキュリティについて学修する。(担当教員:宮崎准教授)				
予習	教科書②(第16編:情報技術の利活用と安全)	を読んでおくこと。	2時間	
復習	医療情報システムと安全管理についてまとめること。		2時間	
6. 【医用工学と安全】医用ガスの安全管理 高圧医用ガス、可燃性医用ガスの安全について学修する。(担当教員:小野寺准教授)				
予習	教科書①(第5章:医療ガスに関する安全基準)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	高圧医療ガスについて安全管理基準とその対策についてまとめること		2時間	
7. 【医療安全と患者急変時対応】医療安全と患者急変時対応 医療安全と患者急変時対応について学修する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	教科書①(第8章:安全管理技術)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	患者急変即時対応のシミュレーションをできるまで実施すること		2時間	
8. 【感染管理、感染制御、洗浄・消毒・滅菌】感染に対する対応 感染管理と感染制御及び洗浄・消毒・滅菌について学修する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	教科書①(第9章:洗浄・消毒・滅菌)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	病院内での感染対策(感染管理と感染制御及び洗浄・消毒・滅菌)について講義の内容をまとめること。		2時間	

○授業計画	科 目 名	医療システムマネジメント論(Introduction to Health Care Syst	授業コード	S013751
	担当教員	伊藤 英史、宮崎 仁、小野寺 博和		
学修内容				
9. 【生体と環境】医療電磁環境 医療電磁環境と電波管理について学修する。(担当教員:小野寺准教授)				
予習	教科書①(第6章:電磁環境)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	教科書・参考書・講義内容を踏まえて医療電磁環境と電波管理法についてまとめること。		2時間	
10. 【生体と環境、災害対策と事業継続】災害対策と災害時の対応 災害対策と事業継続について学修する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	過去の自然災害やパンデミック時に医療供給体制で問題となった点にはどのようなことがあるか調べること。		2時間	
復習	災害時の医療安全管理上の問題と救急医療体制の確保についてまとめること。		2時間	
11. 【医療安全に関する関係法規】医療機器安全に関する法規 医療機器安全に関する法規について学修する。(担当教員:小野寺准教授)				
予習	教科書①(第10章:医療機器に関する関係法規)	を熟読しておくこと。	2時間	
復習	医療機器安全管理に関する法律の重要な要点をまとめること。		2時間	
12. 【医療事故分析手法】医療過誤事例1(各種医療機器の操作に伴う危険因子の認識と対処) 医療過誤事例1について、原因分析と対応法について考察する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	過去の医療事故事例の具体例を検索してまとめておくこと(記事の切り抜きでも良い)。		2時間	
復習	医療事故事例とその対策についてまとめること。		2時間	
13. 【医療事故分析手法】医療過誤事例2(各種医療機器の操作に伴う危険因子の認識と対処) 医療過誤事例2について、原因分析と対応法について考察する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	過去の医療事故事例の具体例を検索してまとめておくこと(記事の切り抜きでも良い)。		2時間	
復習	医療事故事例とその対策についてまとめること。		2時間	
14. 【医療事故分析手法】医療過誤事例3(各種医療機器の操作に伴う危険因子の認識と対処) 医療過誤事例3について、原因分析と対応法について考察する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	過去の医療事故事例の具体例を検索してまとめておくこと(記事の切り抜きでも良い)。		2時間	
復習	医療事故事例とその対策についてまとめること。		2時間	
15. 総括・まとめ 医療システムマネジメント論で学修した内容についての質疑応答を実施する。(担当教員:伊藤英教授)				
予習	講義内容を振り返り、医療システムマネジメントの内容について質問事項を考えておくこと。		2時間	
復習	医療システムマネジメントについてまとめること。		2時間	
16. 期末試験				
予習				
復習				